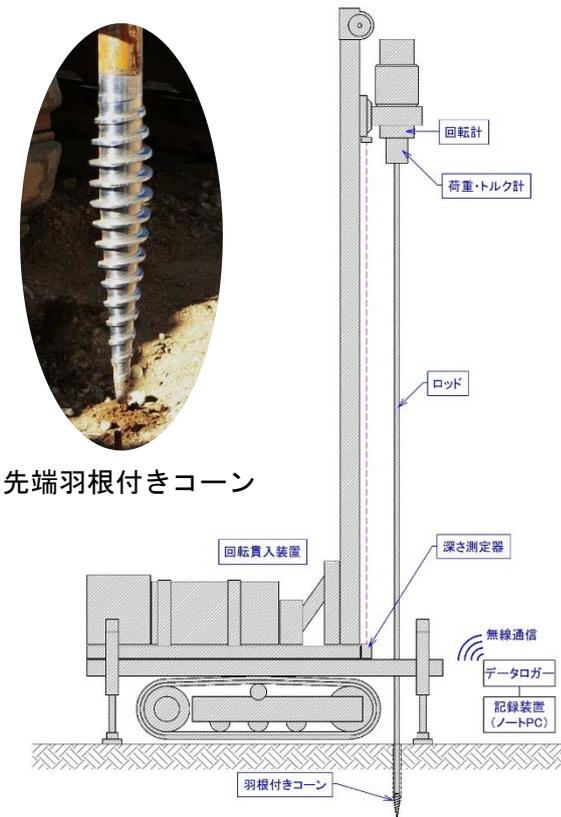




【審査証明番号／有効期限】	BCJ-審査証明-291／2026年12月9日
【技術の名称】	羽根付きコーンを用いた地盤の回転貫入抵抗測定技術 「羽根付きコーン貫入抵抗測定技術 (HCPT)」
【依頼者 (審査証明取得者)】	株式会社 東京ソイルリサーチ

【技術概要】

本技術は、回転によって羽根付きコーンに生じる推進力を利用することにより小さな鉛直荷重でも硬くて深い地盤へ貫入することができる地盤調査技術であり、標準貫入試験併用のボーリング調査地点間を補完する目的で用いられるものである。



測定装置の概略構成

【開発の趣旨】

労働人口の減少等に伴い、ボーリング調査では人手不足が深刻となっている。ボーリング調査に代わるものとして各種のサウンディングが用いられているが、比較的貫入能力が高い動的コーン貫入試験であっても適応深度の目安は20～30m程度とされており、貫入能力の点でボーリング調査に及ばない。そこで、従来よりも高い貫入能力を有するサウンディング技術が必要であると考え、本技術を開発したものである。

【開発目標および審査証明結果】

本技術において、前記の開発の趣旨及び開発の目標に照らして審査した結果は、以下のとおりである。

- (1) 羽根付きコーンを地盤に回転貫入させることにより、地盤の貫入抵抗 ( $N_b$  値) を深さ方向に連続的に測定できるものと判断される。
- (2) 支持層上面の不陸の確認や、地盤の貫入抵抗分布の連続性を確認する目的において、本技術が標準貫入試験併用のボーリング調査地点間を補完できるものと判断される。

【本技術の間合わせ先】

株式会社 東京ソイルリサーチ

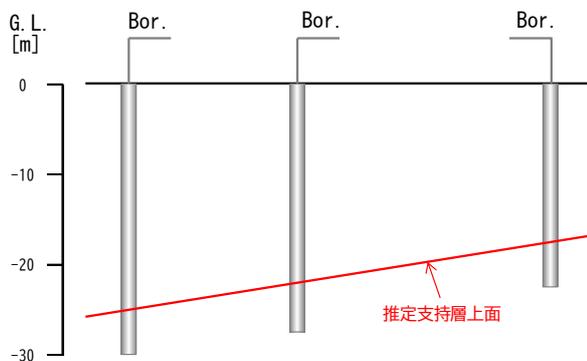
技術本部 技術開発室

TEL : 03-3410-7221 / FAX : 03-3418-0127

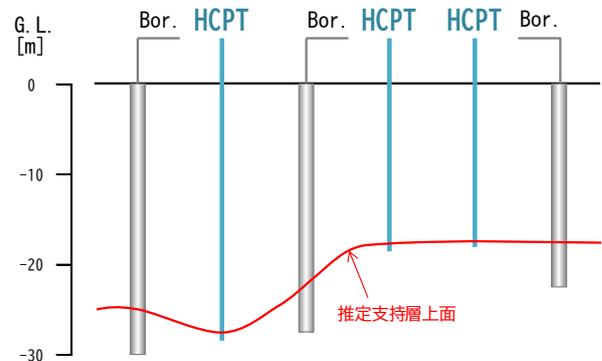


技術紹介サイト

<https://www.tokyosoil.co.jp/>



従来のボーリング調査 (Bor.) による  
推定支持層上面



ボーリング調査 (Bor.) と HCPT の併用による  
推定支持層上面

支持層上面の不陸の確認